

平成10年4月22日

報道関係者各位

財団法人 日本リウマチ財団

平成10年度「ノバルティス・リウマチ賞」

受賞者決定

財団法人 日本リウマチ財団では、過日開催した「ノバルティス・リウマチ賞」の選考委員会において、平成10年度受賞者を次のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

受賞者 岡田 保典（おかだ やすのり）
慶應義塾大学医学部 病理学教室 教授

研究テーマ マトリックスメタロプロテアーゼによるRA関節破壊の分子機構

なお、授賞式は5月6日の第42回日本リウマチ学会評議員会で行われる予定です。

おかだ やすのり

岡田 保典

昭和 24 年 4 月 17 日生まれ

慶應義塾大学医学部病理学教室 教授

略 歴： 昭和 49 年 3 月 金沢大学医学部卒業
53 年 3 月 金沢大学大学院医学研究科（病理学）修了
53 年 4 月 金沢大学医学部病理学第一講座 助手
54 年 4 月 同 講師
58 年 7 月 金沢大学医療技術短期大学部 助教授
59 年 4 月 米国 Univ. of Med. and Dentist. of New Jersey – Rutgers Med.
School (NIH 奨励研究員兼客員助教授)
平成 6 年 7 月 金沢大学がん研究所 教授
9 年 10 月 慶應義塾大学医学部病理学教室 教授 現在に至る

主な所属学会：

日本結合組織学会（理事）、日本病理学会（評議員）、日本生化学会、
日本炎症学会、日本軟骨代謝学会（理事）、日本癌学会、日本リウマチ学会、
American College of Rheumatology

【受賞研究要旨】

テーマ：マトリックスメタロプロテアーゼによるRA関節破壊の分子機構

慢性関節リウマチ(RA)と変形性関節症(OA)を対象として、マトリックスメタロプロテアーゼ(MMP)に関連する一連の研究を進め、関節軟骨・骨破壊における共通のメカニズムについて明らかにしてきた。一方、RA関節軟骨破壊ステップは、1) 関節液に含まれる酵素による軟骨マトリックスの分解、2) 関節軟骨細胞自身による軟骨破壊、3) 滑膜やパンヌス組織侵襲による破壊、に分けて考えることが肝要であり、MMPの作用に関しても主要ステップを決定することが不可欠であると考えられる。

本研究課題では、RA関節破壊の特殊性に着目して、関節液、関節滑膜、関節軟骨およびパンヌス組織におけるMMPとそのインヒビターであるTIMPの産生量と潜在型MMPの活性化を検討するとともに、膜型MMPによる軟骨マトリックス分解機構の解明と新規膜型MMP分子や関連分子のクローニングを行う。これらの研究を通して、RA関節破壊における滑膜、軟骨およびパンヌス組織に由来するMMPの役割分担を明確にするとともに、膜型MMPによる軟骨細胞膜表面でのマトリックス分解機序の解明をめざす。

本研究成果は、RAに特異的な関節破壊機構の理解に役立つとともに、MMPに対する合成インヒビターを用いたRAの新規治療法の導入を可能にすることが期待される。

【参考資料】

「ノバルティス・リウマチ賞」について

「ノバルティス・リウマチ賞」は、日本国内のリウマチ研究の発展、進歩に大きく寄与する可能性を有する独創的研究に対して与えられています。応募者は、リウマチ性疾患の基礎、臨床などの研究に従事する人々を対象としています。

当財団では、「リウマチの予防と治療に関する調査、研究およびその助成事業」を基本活動としており、この賞の創設もその一環となるものです。本賞は、日本チバガイギー株式会社（現：ノバルティス ファーマ株式会社）の協力を得て、平成2年に創設されました。平成9年4月に、日本チバガイギー（株）の医薬部門とサンド薬品（株）が統合し、ノバルティス ファーマ（株）として発足したのに伴い、名称が「ノバルティス・リウマチ賞」に変更されました。

現在、「慢性関節リウマチ」に冒されている患者数は国内で約70万人に達するといわれています。また、周辺疾患を持つ人までを加えると500万人とも全人口の15%ともいわれており、官民一体となったリウマチ対策が必要と考えております。

● これまでの受賞者（敬称略）

第1回（1990年）平野 俊夫 大阪大学医学部教授

バイオメディカル教育研究センター腫瘍医学部門
腫瘍病理学研究部

テーマ：リウマチの発症機序とIL-6

第2回（1991年）池原 進 関西医科大学病理学第一講座教授

テーマ：骨髄移植による慢性関節リウマチ治療に関する
基礎的研究

第3回（1992年）西岡 久寿樹

聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター教授

テーマ：成人T細胞白血病ウイルスによる関節炎発症機構の解明
- 慢性関節リウマチの病因解析モデル -

岩倉 洋一郎

東京大学医科学研究所ウイルス感染研究部助教授

テーマ：成人T細胞白血病ウイルスによる関節炎発症機構の解明
- トランスジェニックマウスによる分子生物学的検討 -

第4回（1993年）小池 隆夫

北海道大学医学部内科学第二講座教授

テーマ：膠原病の血栓性病変と抗カルジオリピン抗体に関する研究

第5回（1994年）笹月 健彦

九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門教授

テーマ：慢性関節リウマチの発症を規定する遺伝要因の解明

第6回（1995年）橋本 博史

順天堂大学医学部膠原病内科教授

テーマ：全身性エリテマトーデス(SLE)の母親から出生する児の転帰・予後と治療法に関する研究

第7回（1996年）森本 幾夫

東京大学医科学研究所ウイルス疾患診療部 教授

ハーバード大学 内科 Visiting Professor

テーマ：ADA結合蛋白CD26のT細胞免疫機能への役割
- その遺伝子工学的・生物学的解析

第8回（1997年）山本 一彦

九州大学生体防御医学研究所臨床免疫学部門 教授

東京大学大学院医学系研究科 教授

テーマ：新しい方法論を基にした慢性関節リウマチの病因抗原の同定

（所属、役職は受賞当時）

この件に関するお問い合わせ先

財団法人 日本リウマチ財団

専務理事 田中 治彦

TEL 03 (3 9 4 6) 3 5 5 1

ノバルティス ファーマ株式会社

広報グループ・喜多 英人

TEL 03 (3 7 9 7) 8 0 2 7